

## 茨木市議会議員(無所属)



# あびこ浩子

# ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



### 入学式・入園式シーズンです。

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

朝の駅に立っていると、入学式に参列されるために礼服をお召しになった保護者の方々にお会いします。幼稚園・保育園・小学校・中学校・大学など入学式・入園式の季節です。また、我が子たちの同級生たちが就職する年になり、新社会人となった彼らが朝の駅で久しぶりに私を見つけてご挨拶してくださると、立派に成長した姿を見て幼いころを思い出し、びっくりするやら嬉しいやら。新たな出発に、これから充実した毎日が送れますようにと願います。新しい環境・新しい周りの方々とうまくやっていけるか不安だらけでしょう。どうか先輩の皆様、ゆっくりかもしれませんが彼らの成長を助けてあげてくださいね。

茨木市は、毎年待機児童の多いまちとして新聞などに取り上げられます。待機児童解消のために私立保育所・認定こども園の建て替え費用を補助して定員の増員をはかったり、春日小学校用地に小規模保育施設のぞみを開設したりと、色々と手立てをしているのですが、なかなか需要に追いつきません。国の待機児童のカウント方法が変わり「隠れ待機児童」と言われる人数をきちんと把握しようとしています。しかしながら「待機児童保育室」に入所されている方や、自宅から遠くの保育所で空きがあったとしても通勤に不便なため入所を希望しない場合で待機児童になっている方は待機児童にはカウントしていません。当然、現状の待機児童数をもとに次年度の定員を確保しようとすれば「隠れ待機児童」の人数が反映されていないため、翌年にはまた待機児童が出るという悪循環になっています。一時よりは定員が増えたために、待機児童の状況は落ち着きつつありますが、今春は南部地域で待機児童が多いようです。地域ごとの定員に差があるので、今年度はその解消に取り組まねばなりません。



桜通りの桜！

#### 【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆茨木市穂積台 在住

## あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460 (留守時はメッセージをお願いいたします。)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP : <http://www.hiroko-abiko.jp>

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko\_h (あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！  
生活者の視点を政治に！



### 4月から国民健康保険制度が変わります！

国民皆保険制度のもと、国民健康保険制度はこれまで市町村が運営団体として実施してきましたが、4月から「安定的に運営し続けるために、市町村に加え、都道府県も共同で国民健康保険制度を担う」ことになりました。

#### 《変更点》

- ◎各種手続きは市役所窓口でこれまで通りに実施されます。
- ◎府内で同じ所得・同じ世帯構成であれば同じ保険料となるように減免基準や保険料を段階的に統一していきます。
- ◎国民健康保険症の様式が10月から変更されます。
- ◎保険料の前納報奨金制度は廃止されます。

府内で北摂地域・茨木市も府内南部地域と比較すると保険料が安い市でした。これを府内で統一するととなると、安かった市町村は高くなり、高かった市町村は安くなると考えられます。必然的に本市は保険料が上昇せざる負えないのですが、今回の制度改革にあたり国から1700億円のお金が投入されました。先に1700億円が投入されていたので合計3400億円。そのおかげで本市は今年はそれほど高くなりません。また、心配された「法定外繰り入れの廃止」も今のところ見送られ、それも、保険料のアップが抑えられました。しかし6年間の激変緩和措置として段階的に保険料が上がっていくので、これから毎年負担が増えます。もともと国民健康保険の被保険者は「年金生活者」「失業者」「低所得者」「非正規雇用者」など「社会的弱者」の方が多くを占めています。負担増になり支払えなくなれば医療が受けられなくなり、保険の意味が無くなります。3年後の見直しの時に、負担増で困る方が出ないように強く要望します。

### ユースプラザ事業の公募が始まります

説明会は4月18日(水)です

子ども若者の居場所を再び取り戻してほしいという要望が事業として形になります。かつて市内4館あった青少年センターのうち3館が2009年に廃止されました。「大阪府が青少年センター事業への補助金を削減したから(＝削減です)3館を廃止する」として市が提案し、廃止されました。青少年センターを居場所としていた障害のある子どもたち、とくに中学生になり部活動と一緒に出来ない子どもたちが青少年センターで地域の子もたちと一緒に放課後を過ごしていた居場所が無くなってしまいました。結果として障害のある子どもたちは家に1人でじっとしていなければなりません。私は全く納得が出来ず復活してほしいと言い続けて9年が経過しました。当時の子どもたちには本当に申し訳ない気持ちです。子どもの貧困が叫ばれ、子どもの居場所が求められる今、ようやく再開できます！★運営事業団体募集されています。

説明会 《日時》4月18日(水)午前10時～11時

《場所》ローズWAM 404.405

公開プレゼンが予定されています。子どもたちのためにガンバってくださる事業者の方お待ちしております！

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木市駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。お声をかけていただけるととても嬉しいです！

